

令和8年5月25日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第113回（通算第192回）定例会 会議録

- ◆日時：令和8年5月19日（火） PM7：03～8：30
- ◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
- ◆出席者：21名 + オンライン 2名

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：03～20：30】

- |             |   |
|-------------|---|
| 19：03～      | 開 会   |
| 19：03～19：10 | 情報提供<br>紀南病院主催医療従事者向け研修会（6/15）<br>遺品整理・生前整理業者の情報  |
| 19：10～19：40 | 研 修<br>「介護ロボットってなに？」<br>～介護テクノロジー導入支援事業補助金～<br>講師：セイコーメディカル株式会社紀南営業所<br>砂山 虎姿氏<br>パラマウントベッド株式会社 小林氏 |
| 19：40～20：30 | 意見交換・発表   |
| 20：30       | 閉 会   |

【研修内容】

○介護テクノロジー導入支援補助金

- ・介護施設が“介護ロボット”や“ICT機器”を導入するときに、国や都道府県が費用を補助してくれる制度
- ・目的  
→介護職員の負担を減らす、人手不足を補う、業務を効率化する、働きやすい職場にする

・対象

① 見守り機器：ベッドの離床センサー、見守りカメラ、転倒検知システム

→夜勤の負担軽減

②ICT・介護ソフト：タブレット記録、電子介護記録、ナースコール連携、勤怠管理システム

→介護記録時間を短縮

③入浴支援機器：リフト浴、入浴介助ロボット →職員の身体負担が減る

・申請ができるのは、介護保険施設やグループホーム、デイサービスなど

・補助金の募集時期は毎年異なる。都道府県ごとに内容が違ふ。予算上限がある

### ○パラマウントベッド社の介護テクノロジー製品の紹介

・眠りスキャン

→ベッドのマットレス下にセンサーを敷き、利用者の呼吸数、心拍数、睡眠・覚醒状態をリアルタイムで検知・記録するシステム

和歌山県内の 24 施設に約 700 台の販売実績がある

## 【意見交換】

### ○介護テクノロジー・介護ロボットに望むこと

・徘徊する人を見つけるシステムがあるといい

・在宅で使える介護ロボットを考えてほしい

・介護ロボットは働き方改革や職員の負担軽減の目的で導入されているが利用者目線のものができるといいと思う

・補助金で導入した場合、何年間か使わないといけないという制限はあるのか。同じものでも継続して助成を受けられるのか

・機器の重さは変わってきているのか

・介護テクノロジーは、多く利用者を多くのスタッフでみる仕組みになっていると思う

・田舎で過ごしている利用者に何かあった場合、最終的には医師が必要になる。今後医師不足が言われているなかで、そういうところでもサポートできるようなものができるといい

・今のテクノロジーは Wi-Fi 環境が整っていないと利用がむずかしい。どの地域に住んでいても同じサービスが受けられる環境や状況づくりが必要

・機械に振り回されない。テクノロジーがすすんでいけば、ケアワーカーのスキルが衰えるのではと感じる

・あまり進んでしまうと、利用者さんにとっても味気ない感じがする

## 【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

**日時**：令和 8 年 6 月 16 日（火） 午後 7 時～

**場所**：田辺市医師会館 3F 大講堂

**内容**：未定